

※本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。



個人投資家向け会社説明会

2026年7月25日（土）

東証スタンダード 6357

三精テクノロジーズ株式会社

企業理念

社業を通じ、笑顔と感動そして安全で快適な空間を提供することで社会に貢献します。

誠実を旨とし、自由闊達で明るく働きやすい会社になります。

常に技術の開発と向上に努め、グローバルなオンリーワン企業を目指します。

**Bringing Smiles
with Engineering Excellence**

目次

1	会社概要	・ ・ ・ P.4～
2	事業内容	・ ・ ・ P.8～
3	業績概要	・ ・ ・ P.16～
4	業績予想	・ ・ ・ P.35～
5	成長戦略	・ ・ ・ P.40～

1 会社概要

会社プロフィール

商 号	三精テクノロジーズ株式会社 (Sansei Technologies, Inc.)
本 社	大阪府大阪市淀川区宮原4丁目3番29号
設 立	1951年2月27日
資 本 金	32億円 (2026年3月期 連結)
売 上 高	730億円 (2026年3月期 連結)
従 業 員 数	1,405名 (2026年3月末現在 連結)
上 場 市 場	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	6357
事 業 内 容	遊戯機械、舞台設備、昇降機 の 設計・製作・施工・保守・改修



沿革

- ・ 1951 年：エレベーターや遊戯機械等の製造販売を主たる業務として創業
- ・ 1952 年：舞台機構の設計製作を開始、日本初のローラーコースターを製造
- ・ 1970 年：大阪万博では、ダイダラザウルス（ローラーコースター）や動く歩道等を納入し大きく飛躍
- ・ 2012年以降：当社と関連のある事業を有する国内 / 海外企業を子会社化

創業当時

- 1951：三精輸送機株式会社として創業
- 1952：舞台機構の設計製作を開始
- 1952：日本初のローラーコースター製造
- 1970：大阪万博にて大きく飛躍



日本初のローラーコースター

近年

- 2012：特殊美術で国内パイオニアのテルミックを子会社化
- 2012：スリルライドに強みのある 米国 S&S WorldWide社を子会社化
- 2018：ローラーコースター大手企業である オランダVekoma社を子会社化
- 2023：テーマパーク等のコンセプト提案等のカナダFORREC社を子会社化



テルミック納入演出装置

業績の推移（長期）

積極的事業拡大、グローバル展開

2012年 国内で仮設舞台装置等を手掛けるテルミックを子会社化

テルミック

2012年米国でM&A

S&S

2018年オランダで M&A

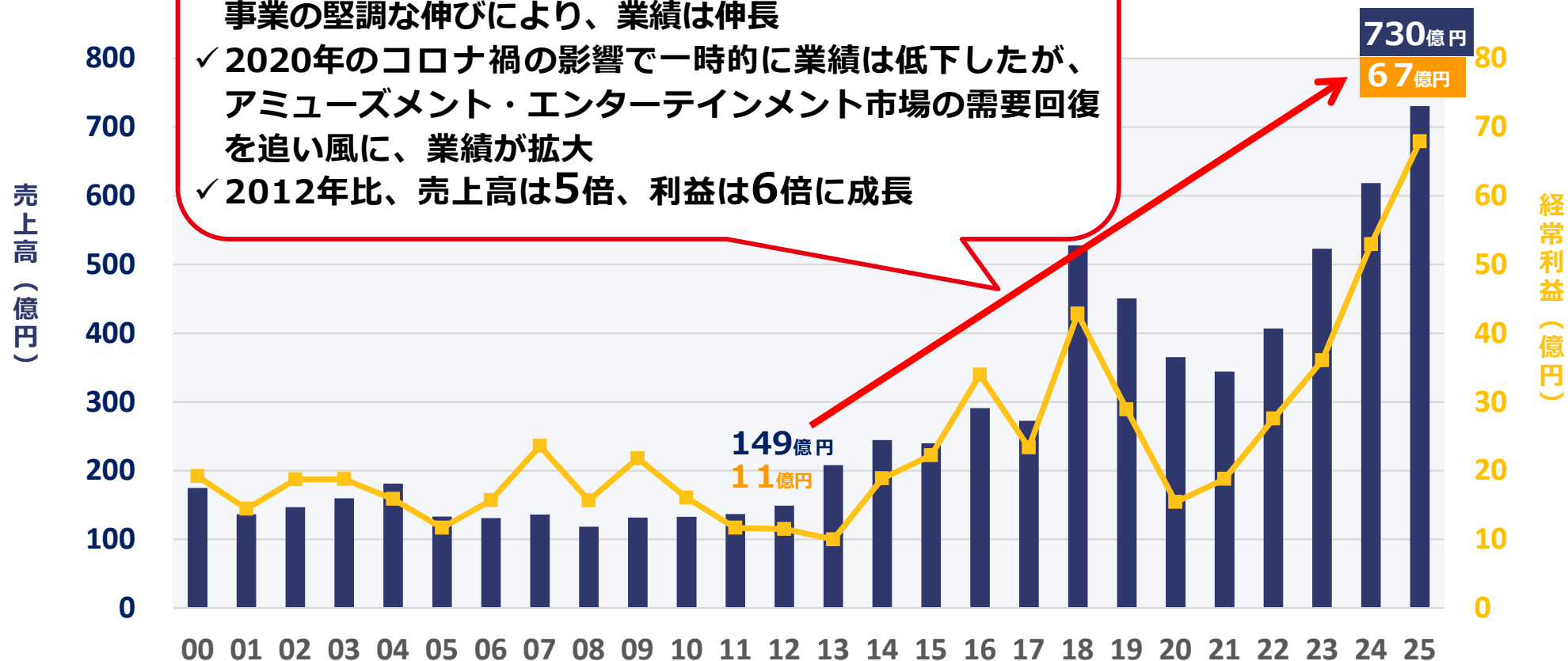
Vekoma

2023年カナダでM&A

FORREC

- ✓ 2012年から、複数のM&Aによる積極的な事業拡大と既存事業の堅調な伸びにより、業績は伸長
- ✓ 2020年のコロナ禍の影響で一時的に業績は低下したが、アミューズメント・エンターテインメント市場の需要回復を追い風に、業績が拡大
- ✓ 2012年比、売上高は5倍、利益は6倍に成長

2期連続で過去最高



2 事業内容

事業概要

当社グループは、遊戯機械、舞台設備、昇降機の3事業部門において、多様な製品の設計・製作・施工・保守・改修を行う



昇降機事業 78億円

- ・エレベーターなど



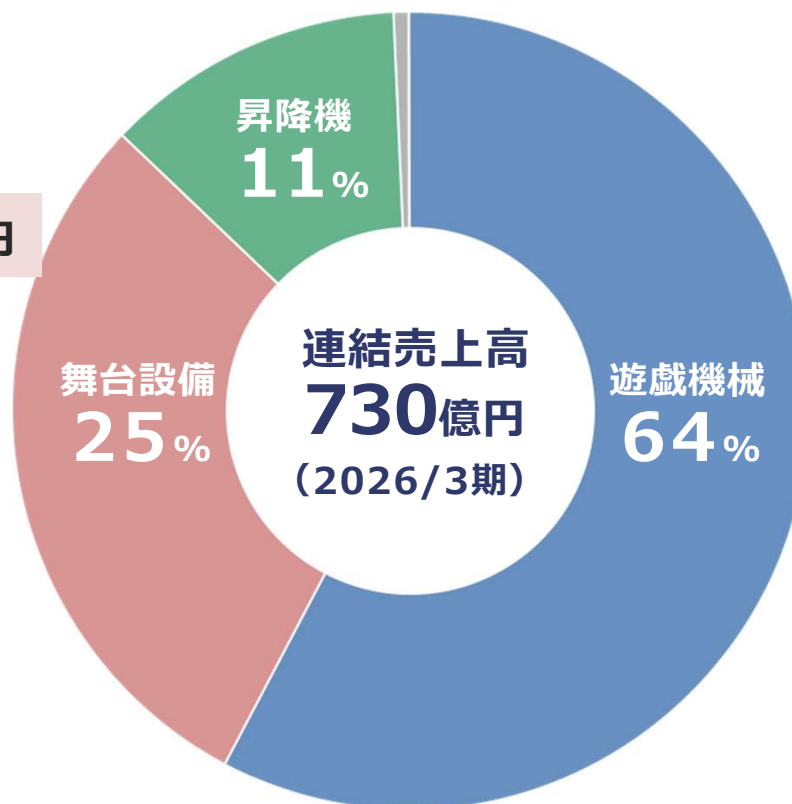
遊戯機械事業 465億円

- ・ローラーコースター、タワーライド、急流すべり、ダークライドなど
- ・テーマパーク向けコンセプト提案、デザイン提供



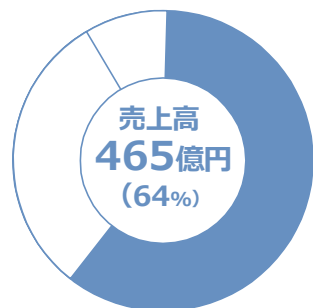
舞台設備事業 185億円

- ・劇場、文化ホール等における吊物機構、床機構、音響反射板など
- ・テレビ、イベント、コンサート等における電飾や機械装置など





遊戯機械事業



当社グループの強み

- 大手パークへの納入実績(Walt Disney、Universal、Legoland、Six Flagsなど)
- 製品ラインナップが豊富（含むS&S社、Vekoma社）
- グローバルベースでの市場対応、欧・米・アジアでの生産
- パークのコンセプトデザイン、機械の設計・製作から販売・据付までの一気通貫体制
- グループ合算でローラーコースターの年間販売台数は世界のトップクラス

〈納入実績〉

ナガシマスパーランド「白鯨」
三重県



Fårup Sommerland「Fonix」
デンマーク



サンリオピューロランド「ボートライド」
東京都



Hersheypark「Triple Tower」
米国 ペンシルバニア州



Legoland Korea「LEGOLAND® Lookout」
韓国

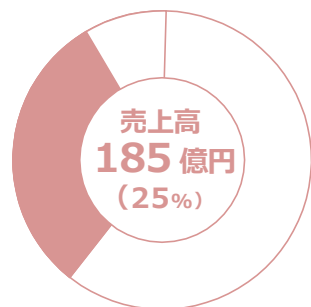


Port of Entry at Universal's Islands of Adventure
米国 フロリダ州





舞台設備事業



当社グループの強み

- 豊富な新設・改修実績と、それに裏打ちされた技術力、施工スキル
- 自社生産設備と自社開発した制御システムにより、顧客ニーズにフレキシブルに対応
- 保守点検と併せた一貫サービスを提供
- 国内最大手（公共施設ホール、民間劇場、大規模ライブの仮設舞台装置のいずれも）

〈納入実績〉

常設舞台

- ・ 全国の公共施設、ホール
- ・ 国立劇場・新国立劇場
- ・ 歌舞伎座・フェスティバルホール
- ・ 四季[春][秋][海][自由][有明四季]
- ・ 宝塚大劇場・帝国劇場

仮設舞台

- ・ Mrs. GREEN APPLE 5大ドームツアー
- ・ SEVENTEEN ワールドツアー 日本公演

THEATER MILANO-Za 舞台機構



コンサート 演出装置



宮崎県立芸術劇場 舞台機構

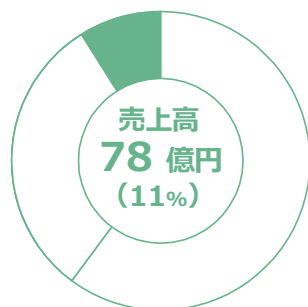


モーターショー 演出装置





昇降機事業



当社グループの強み

- 官公庁向けを中心に多数の新設・改修実績
- 標準エレベーターを中心に納入し、安定した品質を維持
- 保守点検と併せた一貫サービスを提供
- 全国に24 時間365日の保守体制を構築

〈納入実績〉

乗用エレベーター



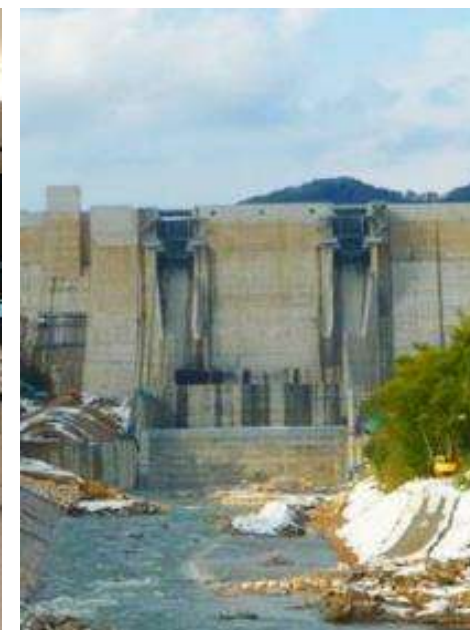
階段室型エレベーター



荷物用エレベーター



ダムエレベーター





その他（特殊装置）

国技館（大相撲屋形升降装置）



ボーディングブリッジ 併設エレベーター



乗用人型変形ロボット「SR-01」

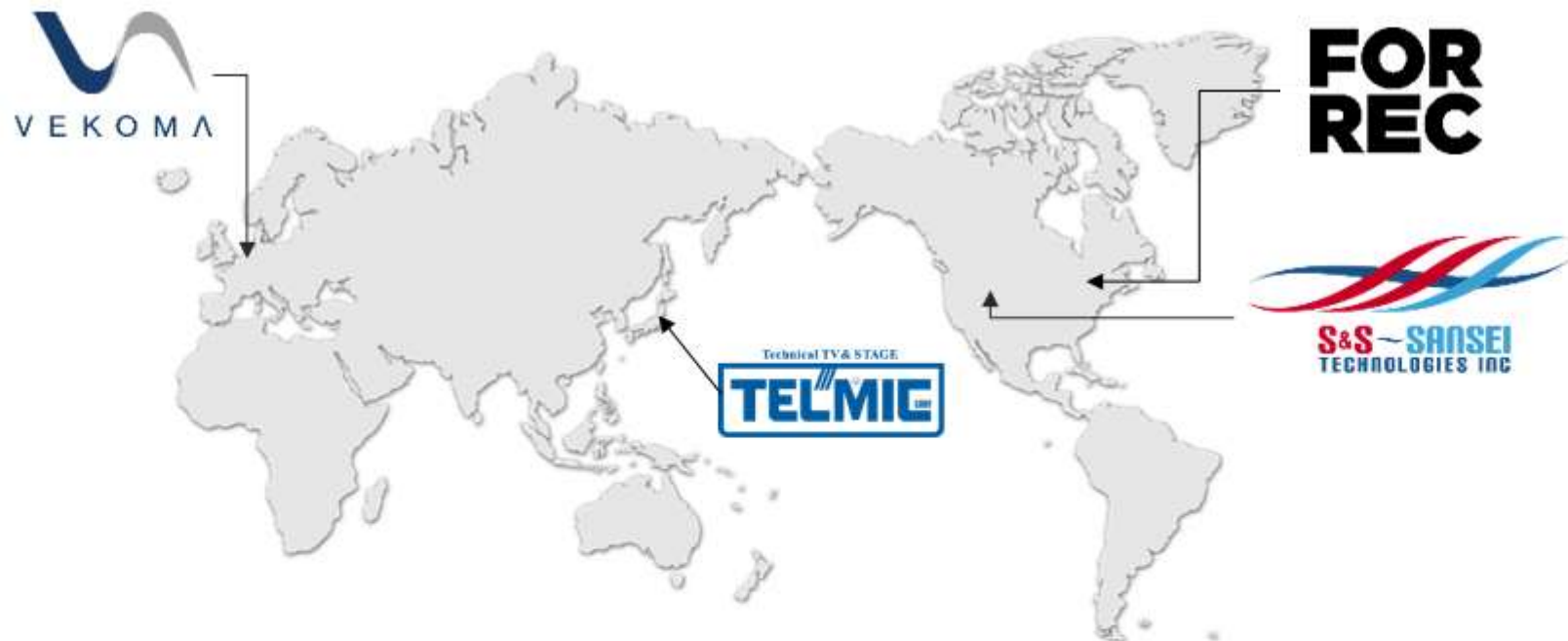


4足歩行型ライド「SR-02」



当社の特徴・強み ① 関係会社のグローバルネットワーク

- 日本、オランダ、米国、カナダでグループ会社をグローバルに展開
- 高い技術力と豊かな発想力で、高品質な製品・サービスを世界中のお客様に提供、海外売上高は全体の56%（2026年3月期）を占める



テルミック(日本)

コンサート・テレビ番組・舞台・イベント等、常に進化し続けるエンターテインメントに対応する仮設舞台設備・電飾装置・映像コンテンツ等をご提供いたします。

S&S Worldwide(米国)

スリル感あふれるライドを世界中に展開しています。ローラーコースター、スイング、タワー等の設計、製作、据付、アフターサービスをご提供いたします。

Vekoma Rides(オランダ)

高品質で革新的なコースターで知られるグローバルなリーディングカンパニーの一つです。ローラーコースター等の設計、製作、据付、アフターサービスをご提供いたします。

FORREC(カナダ)

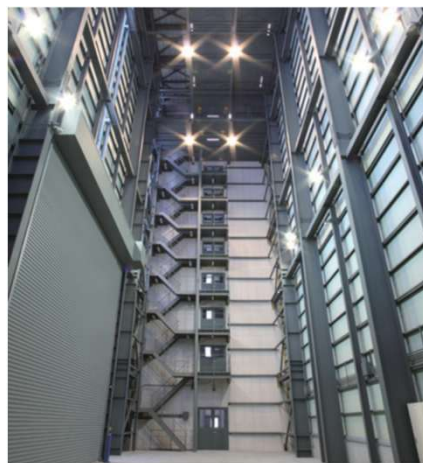
世界中の遊園地、テーマパーク、商業施設に対して、魅力あふれるコンセプト提案、デザイン計画、コンサルティングサービスをご提供いたします。

当社の特徴・強み ② 一気通貫体制を支える神戸事業所

- 神戸事業所は、当社のテクノロジーの根幹を成す施設
- 設計棟・研究棟・工場棟を有し、研究・開発の結果を設計・製作にフィードバックすることにより、高品質のものづくりを実現。



敷地面積：56,300m² 建物面積：19,560m²



3 業績の状況

2026年3月期：連結業績ハイライト

(単位 : 百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前期比
受注高	78,841	81,552	+ 2,711 (+3.4%)
売上高	61,861	73,070	+11,208 (+18.1%)
営業利益	4,797	6,570	+1,772 (+37.0%)
経常利益	5,293	6,792	+1,498 (+28.3%)
親会社株主に 帰属する当期純利益	2,995	5,102	+2,106 (+70.3%)

受 注 高 ➡ 遊戯機械事業での大型案件獲得や舞台設備事業での仮設舞台装置や改修工事の受注堅調

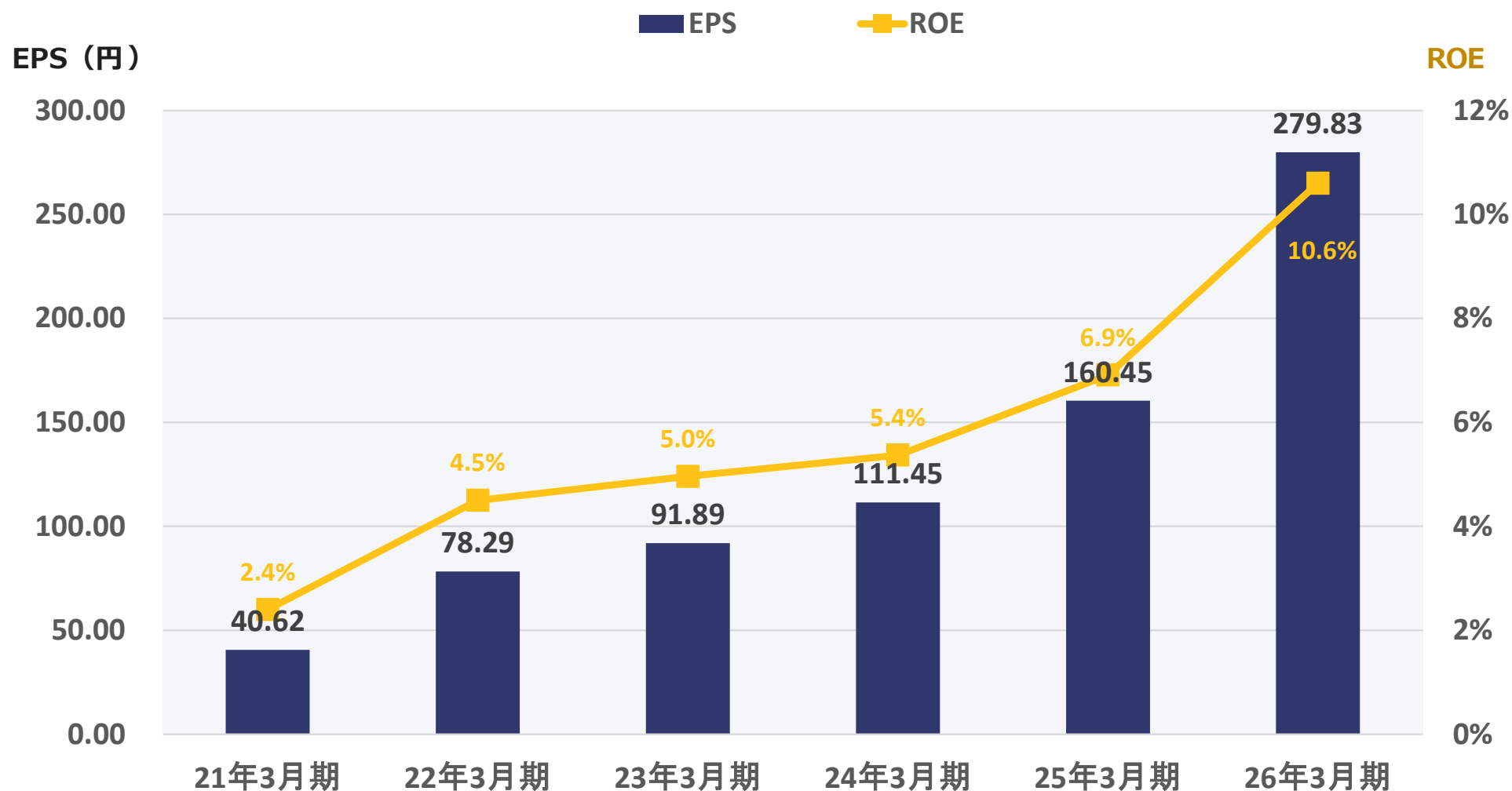
売 上 高 ➡ 好調な受注環境のもと、大型工事などが順調に進捗

経 常 利 益 ➡ 売上の伸びに加え、採算改善に注力した結果、大幅増益

2026年3月期：売上高・経常利益



一株当たり利益(EPS)・自己資本利益率(ROE)



2026年3月期のROEは株式売却益等もあり10%台を達成

2026年3月期：受注高・受注残（連結）



遊戯機械事業を中心に堅調な受注が継続
売上高とともに受注高、受注残も過去最高を更新

2026年3月期：セグメント別ハイライト

【セグメント別概況】



遊戯機械事業

国内外で受注した工事が順調に進捗し、補修部品の需要も引き続き堅調に推移。



舞台設備事業

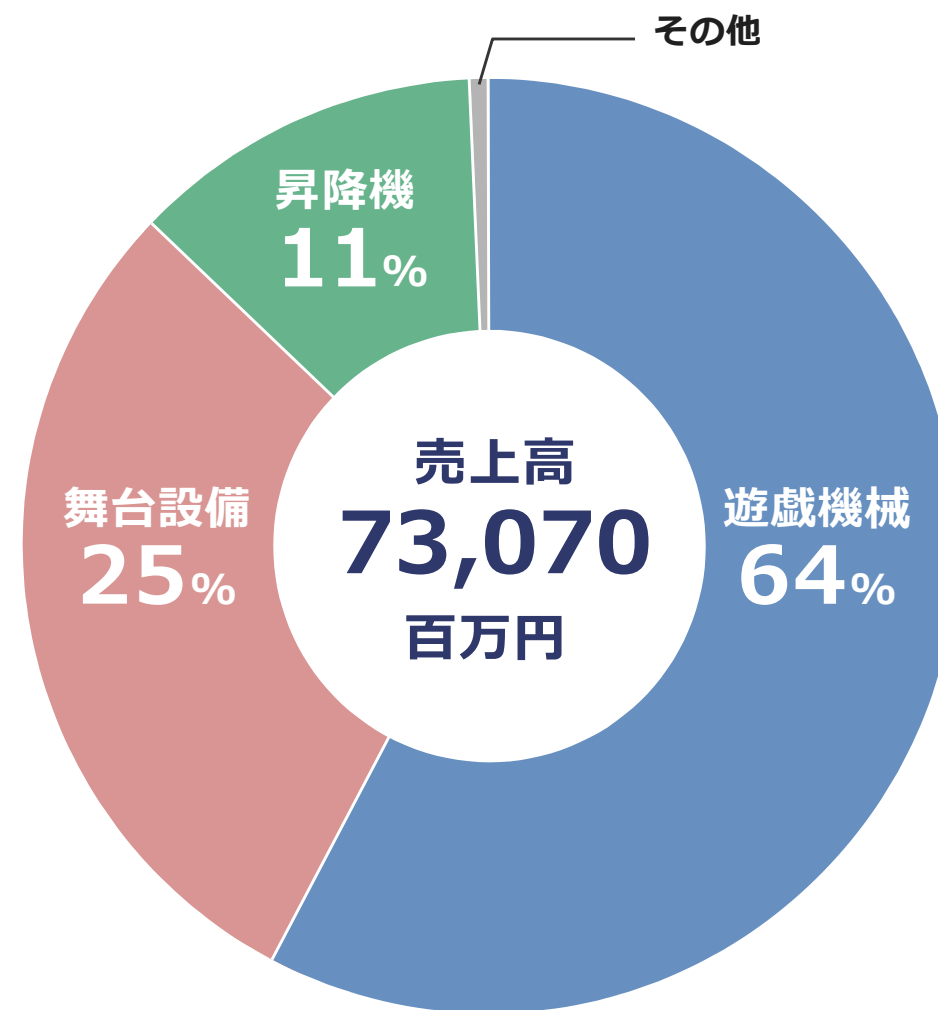
コンサートやイベント向け仮設舞台装置の需要が好調なことや、常設施設でも改修工事が着実に進捗したことにより堅調に推移。



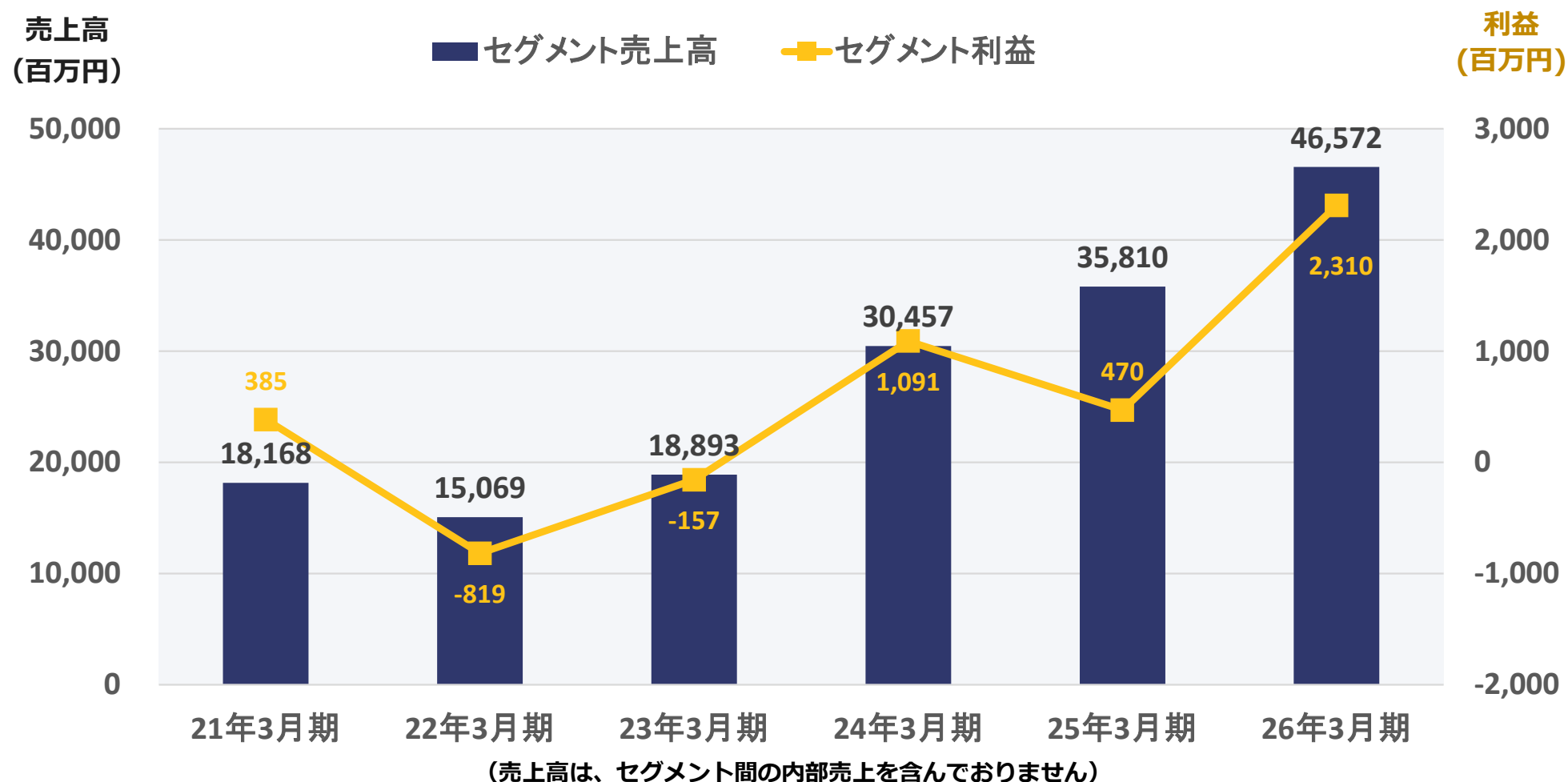
昇降機事業

公共施設、集合住宅用の新設・改修工事が着実に進捗し、保守・メンテナンス事業も引き続き安定的に推移したことに加え、コスト削減等にも注力。

【2026年3月期 セグメント売上高比率】

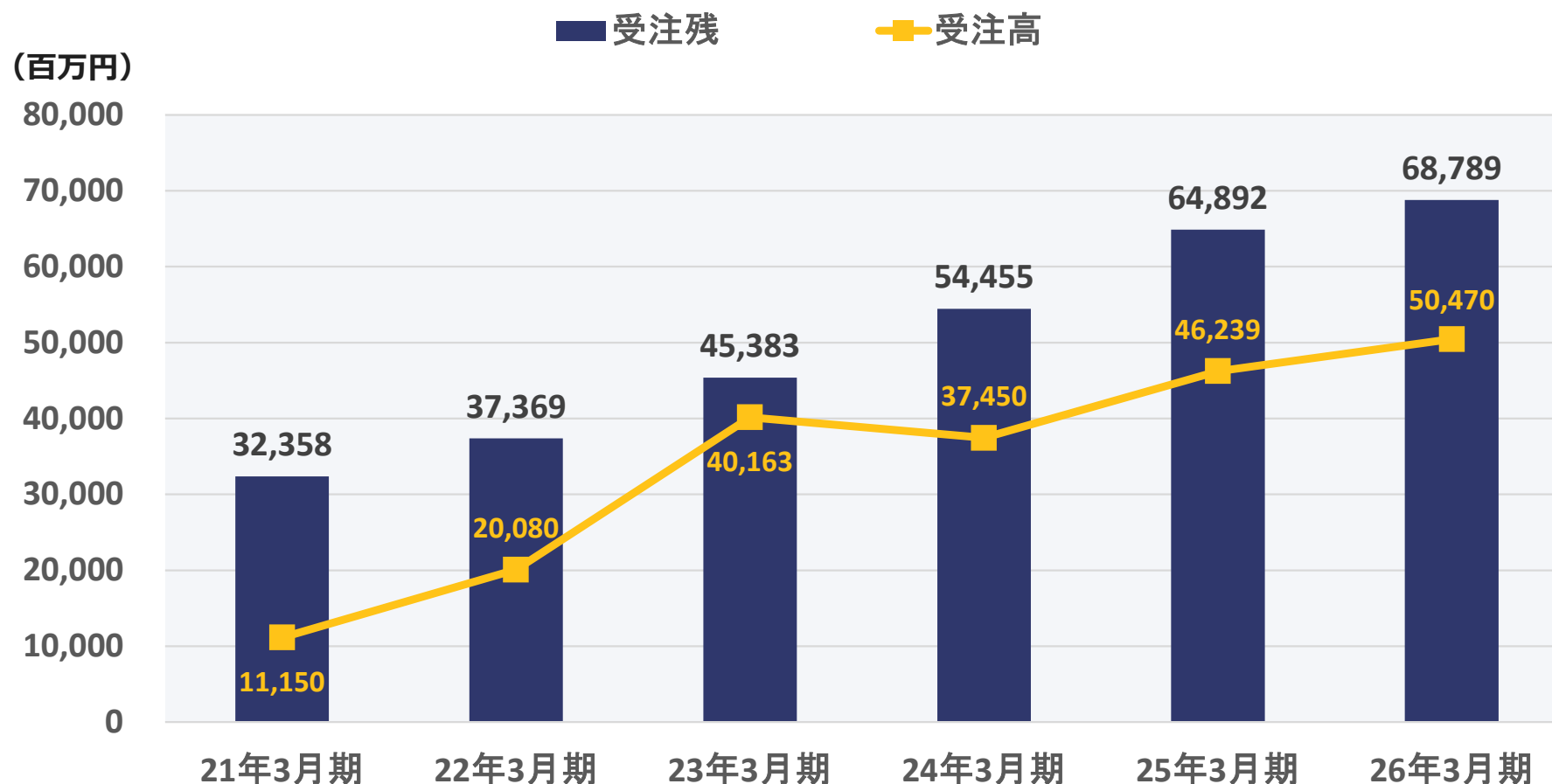


2026年3月期：遊戯機械事業（売上高・利益）



国内外で受注した大型工事などが順調に進捗、補修部品の需要も引き続き堅調に推移。
前期に計上した不採算工事等の影響もなくなり増収増益。

2026年3月期：遊戯機械事業（受注高・受注残）



北米を中心に、欧州、アジアなどグローバルで着実にビジネスを拡大
特にVekomaでの大型案件の受注傾向が継続

遊戯機械事業（2026年3月期実績から S&S）

米国ハーシーパーク大型スリルライド「Twizzlers Twisted Gravity」納入

米国ペンシルベニア州のハーシーパークにてオープンした「Twizzlers Twisted Gravity」は、人気キャンディブランド「Twizzlers」をテーマにした大型スリルライドです。

巨大なアームが回転しながら上下動するダイナミックな構成により、浮遊感とスピード感が連続する迫力ある体験を実現しています。

鮮やかなカラーリングと視認性の高いアイコンックな外観は、エリア全体の魅力を高めており、テーマ性とスリルを融合させたアトラクションとして、パーク内でもひととき存在感を放っています。



遊戯機械事業（2026年3月期実績から Vekoma）

北米初スーパーブーメランコースター「THE FLASH: Vertical Velocity」オープン

北米初となるスーパーブーメランコースター「THE FLASH: Vertical Velocity」が、シックス・フラッグス・グレートアドベンチャー（米国ニュージャージー州）にてオープンしました。

本アトラクションは、スーパーヒーロー「THE FLASH」の超高速の世界観をテーマに、前進・後進を繰り返す複数回のローンチや宙返りなど、最新のスリル要素をコンパクトな敷地に凝縮しています。

最高時速約96km、高さ約52mというダイナミックな構成でありながら、身長制限は約122cm以上に設定されており、幅広い層の来園者が楽しめるコースターとして高い注目を集めています。



遊戯機械事業（2026年3月期実績から FORREC）

ナイアガラ・パークス Table Rock Centreにフライングシアター「Niagara Takes Flight」が開業

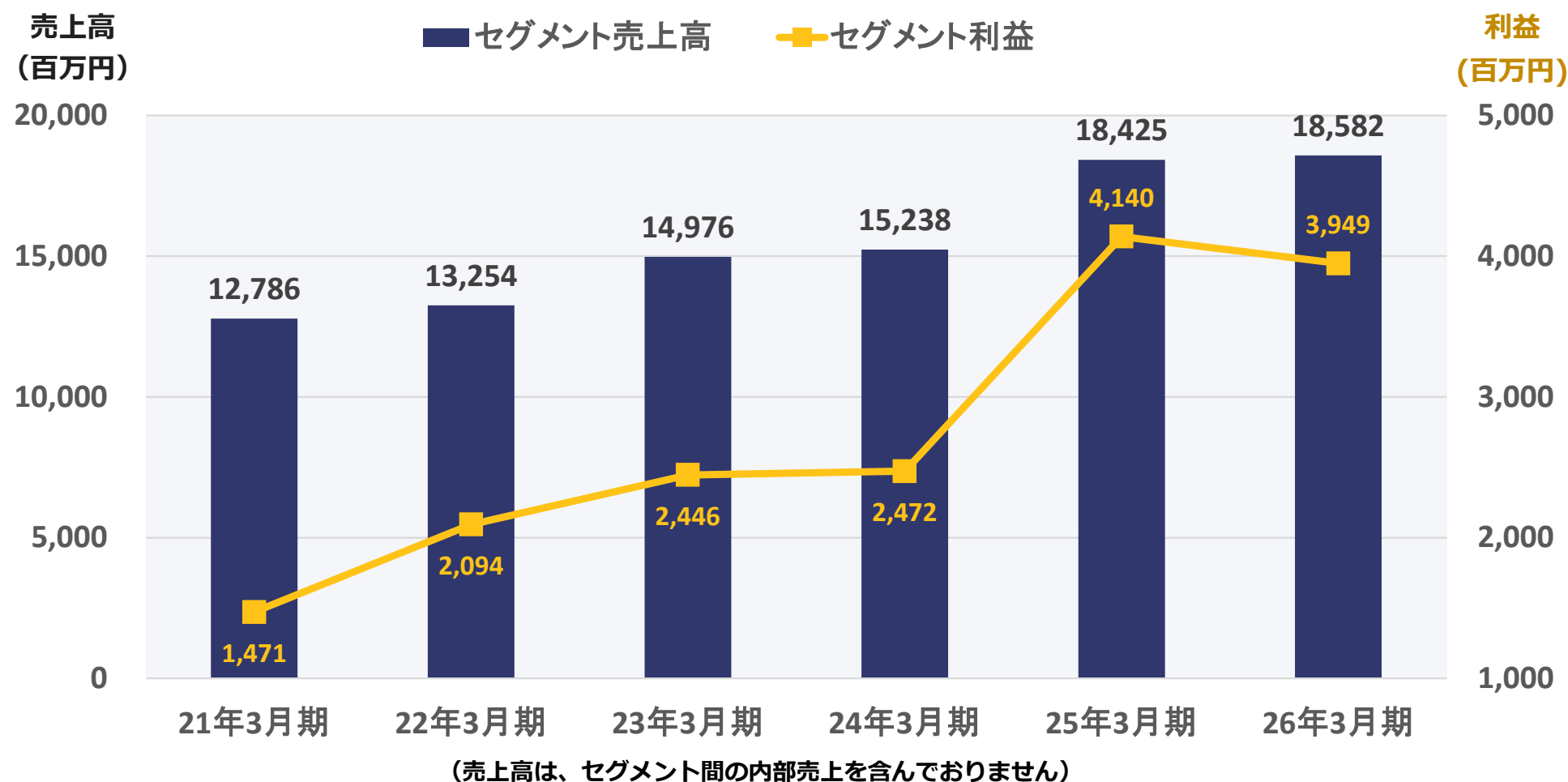
ナイアガラ・パークスのテーブルロック・センター（ウェルカムセンター）に、総額2,500万ドル規模のフライングシアター「Niagara Takes Flight」が2025年8月29日に開業しました。

FORRECは2023年初頭の市場調査段階から本プロジェクトに参画し、Brogent社と共にストーリー、内装、プレショー(フライング体験前の導入演出)、物販を企画しました。

ジェームズ・キャメロンも参加したプレショーのナレーションの後、180度ドーム映像と風や霧など多様な演出効果が組み合わさり、ナイアガラの雄大な風景の中を飛行するダイナミックな感覚を再現しました。本施設において、ナイアガラをテーマに高い没入感を備える総合体験を実現しました。



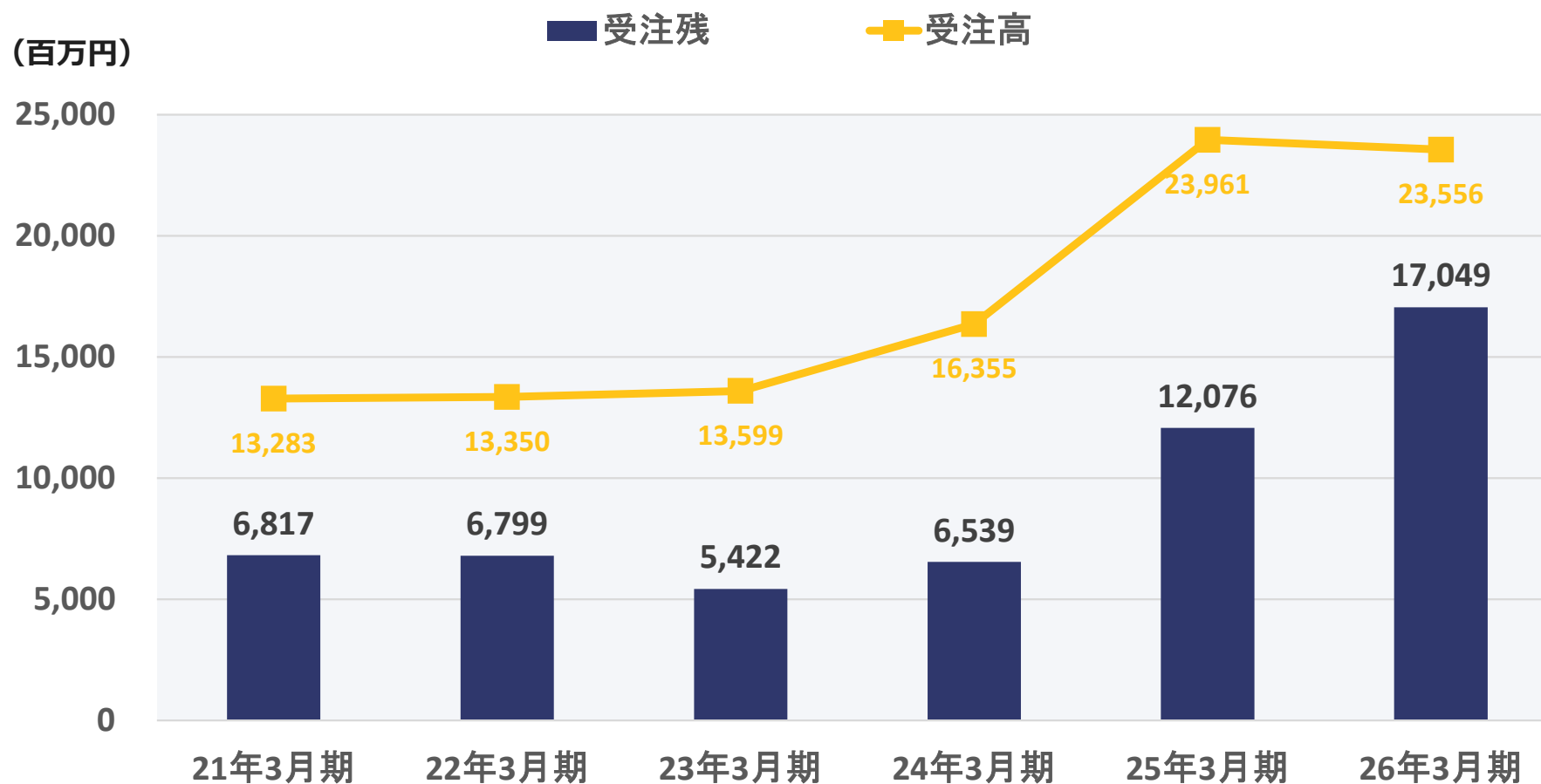
2026年3月期：舞台設備事業（売上高・利益）



仮設舞台事業ではコンサートやイベント向け需要が引続き好調

常施設設でも改修工事が着実に進捗

2026年3月期：舞台設備事業（受注高・受注残）



改修工事、仮設舞台装置を中心に需要に対応、
高水準の受注高を維持し、受注残も増加

舞台設備事業（2026年3月期実績から 常設舞台）

宮川町歌舞練場に舞台設備を納入

春は「京おどり」、秋は「みずゑ會」。

京の雅が息づく宮川町歌舞練場は、明治・大正・昭和を経て2025年に生まれ変わりました。

当社は、伝統技芸の魅力をいっそう引き立てる舞台づくりを目指し、舞台面に小迫り、花道にはすっぽん迫りを設置、舞台上の各種吊物バトンのご要望に応じて電動・手動の2方式を納入。

客席側では、和の趣あふれる棧敷幕の昇降装置を手がけています。



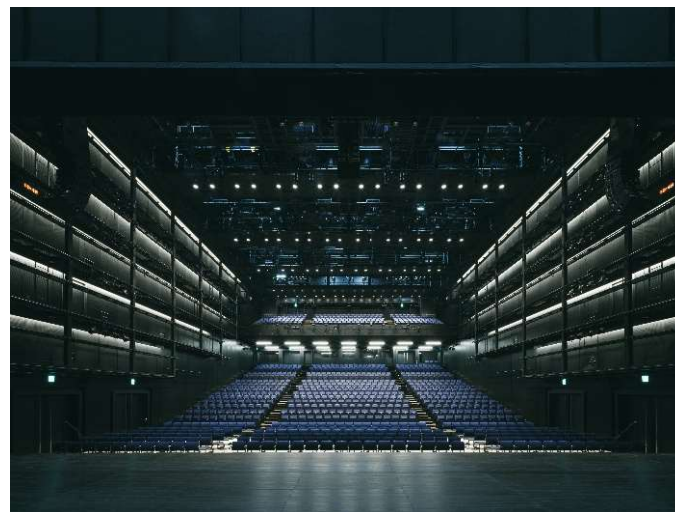
舞台設備事業（2026年3月期実績から 常設舞台）

MoN Takanawa (TAKANAWA GATEWAY CITY) Box1000・Box300に舞台機構を納入

2026年3月28日、JR東日本が「100年先の心豊かなくらしのための実験場」として推進するTAKANAWA GATEWAY CITYがグランドオープンし、文化の実験的ミュージアム「MoN Takanawa」も同日に開館しました。

当社は同施設の劇場空間に舞台機構を納入し、Box1000では日本の劇場として初となるDMX制御の常設機構システムにより、照明と動きが同期する高度な空間演出の実現に貢献しています。また、Box300においても可動性を生かした柔軟な空間運用を支え、施設全体の表現力と運営性の向上に寄与しました。

今後も独自技術を通じて、新たな文化発信拠点の価値向上に貢献してまいります。



クレジット： 高木康行

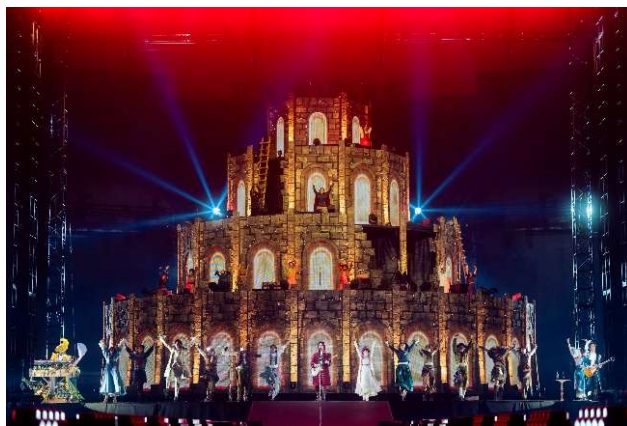
舞台設備事業（2026年3月期実績から テルミック）

テルミック、Mrs. GREEN APPLE 5大ドームツアー「BABEL no TOH」のステージ演出に参画

Mrs. GREEN APPLE初の5大ドームツアー「DOME TOUR 2025 “BABEL no TOH”」（全国5都市12公演、約55万人動員）に携わりました。

巨大なセットで造られたメインステージ“バビロンの街”には全長約50mのLED開閉装置や各種電飾を設置しました。さらに、客席側へ迫り出す高さ約20m・重さ約100トンの“バベルの塔”のベースはムービングステージとなっており、塔全体には電飾が施されています。

本番操作はもちろん、設営から撤去に至るまで全工程で安全性に配慮し、サービスを提供いたしました。



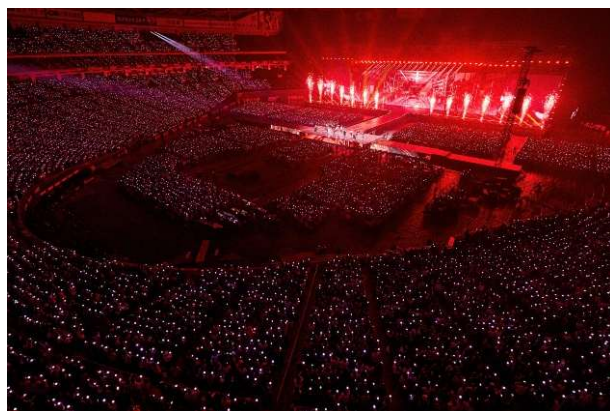
舞台設備事業（2026年3月期実績から テルミック）

SEVENTEEN「WORLD TOUR[NEW_]IN JAPAN」4都市10公演のステージ演出に参画

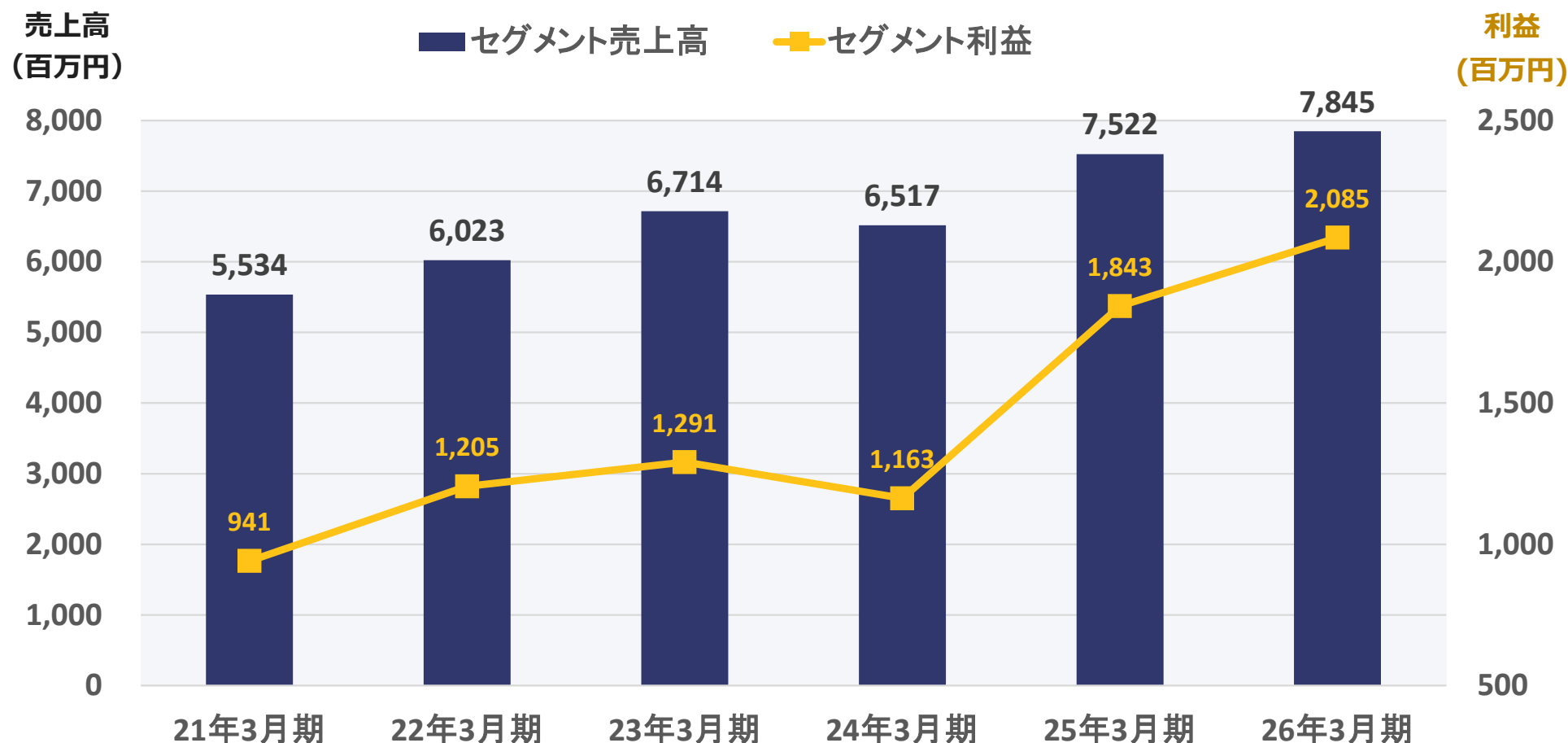
SEVENTEENのワールドツアー日本公演「SEVENTEEN WORLD TOUR [NEW_] IN JAPAN」（全国4都市10公演 約42万人動員）に携わりました。

会場内には数種類のリフターを組みこみ、各所からのアーティストの登場や迫り上がり演出に活用されました。また会場中央のムービングステージには約160枚のLED Visionも盛り込み、機構と電飾両面から高度な演出を可能としました。

今後も確かな技術力と安全性を基盤に、エンターテインメント業界の発展に貢献してまいります。



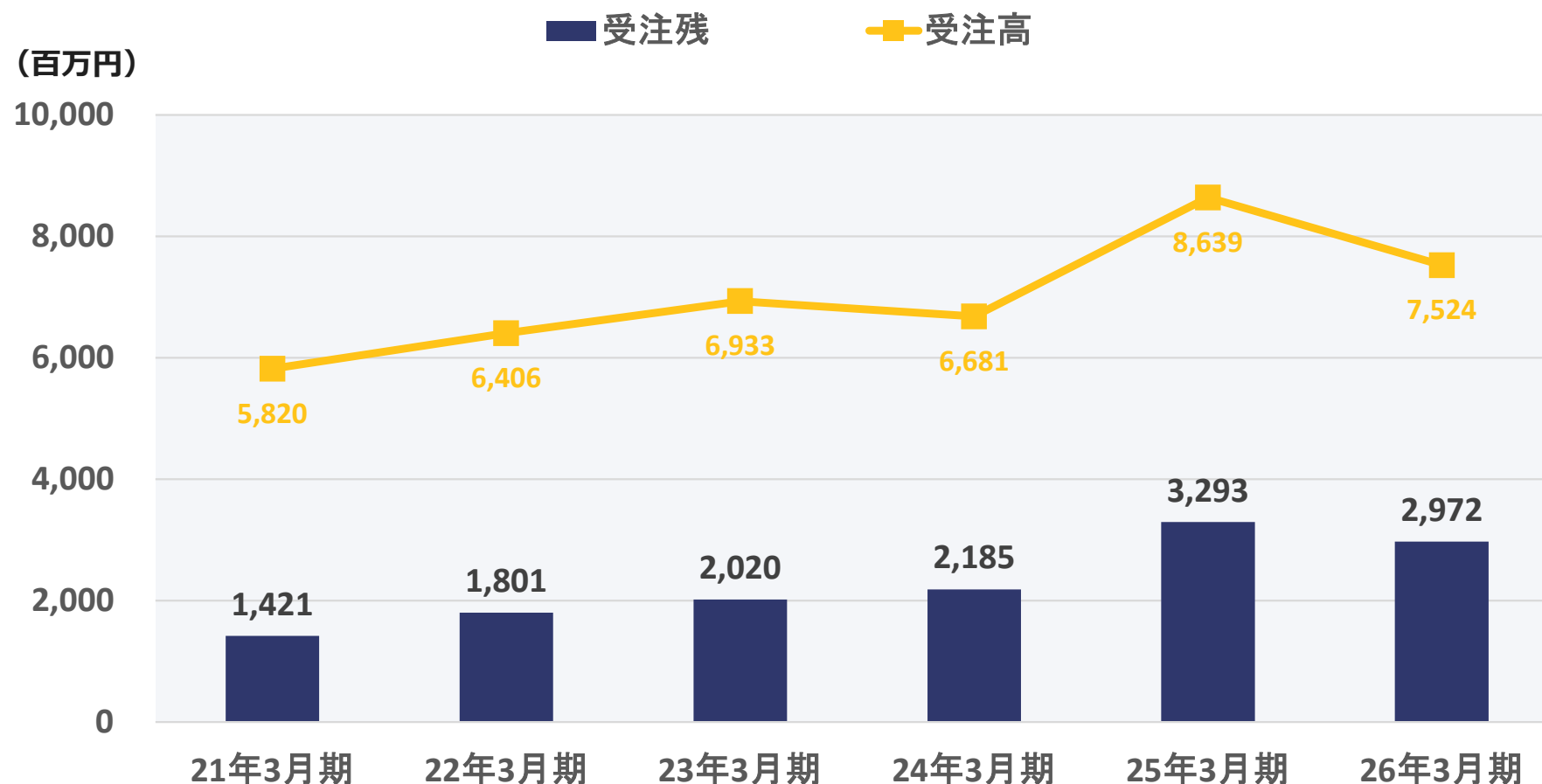
2026年3月期：昇降機事業（売上高・利益）



（売上高は、セグメント間の内部売上を含んでおりません）

公共施設、集合住宅用の新設・改修工事が着実に進捗、保守・メンテナンス事業も引き続き安定的に推移したことに加え、採算改善に注力し増収・増益

2026年3月期：昇降機事業（受注高・受注残）



生産の平準化に留意しつつ、採算を意識した
受注獲得に注力し高水準の受注残を維持

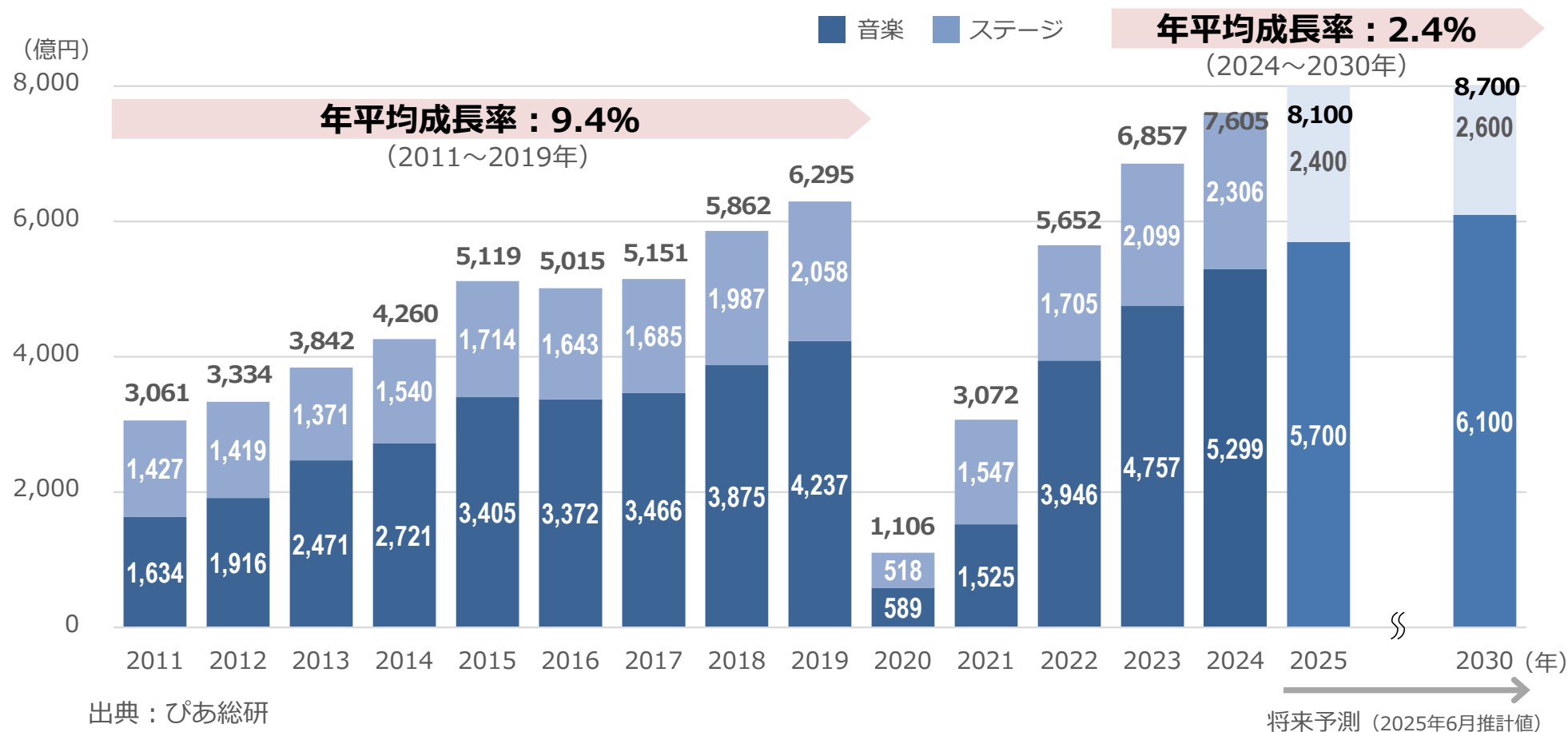
4 業績予想



市場環境：舞台設備事業（仮設舞台）

- コロナ後のライブ・エンターテインメント市場は順調に回復し、コロナ前の2019年を上回り、8,000億円を超える勢いで過去最高を更新
- 今後も順調に拡大し2030年の市場規模は8,700億円になると予測

ライブ・エンターテインメント市場規模の将来予測

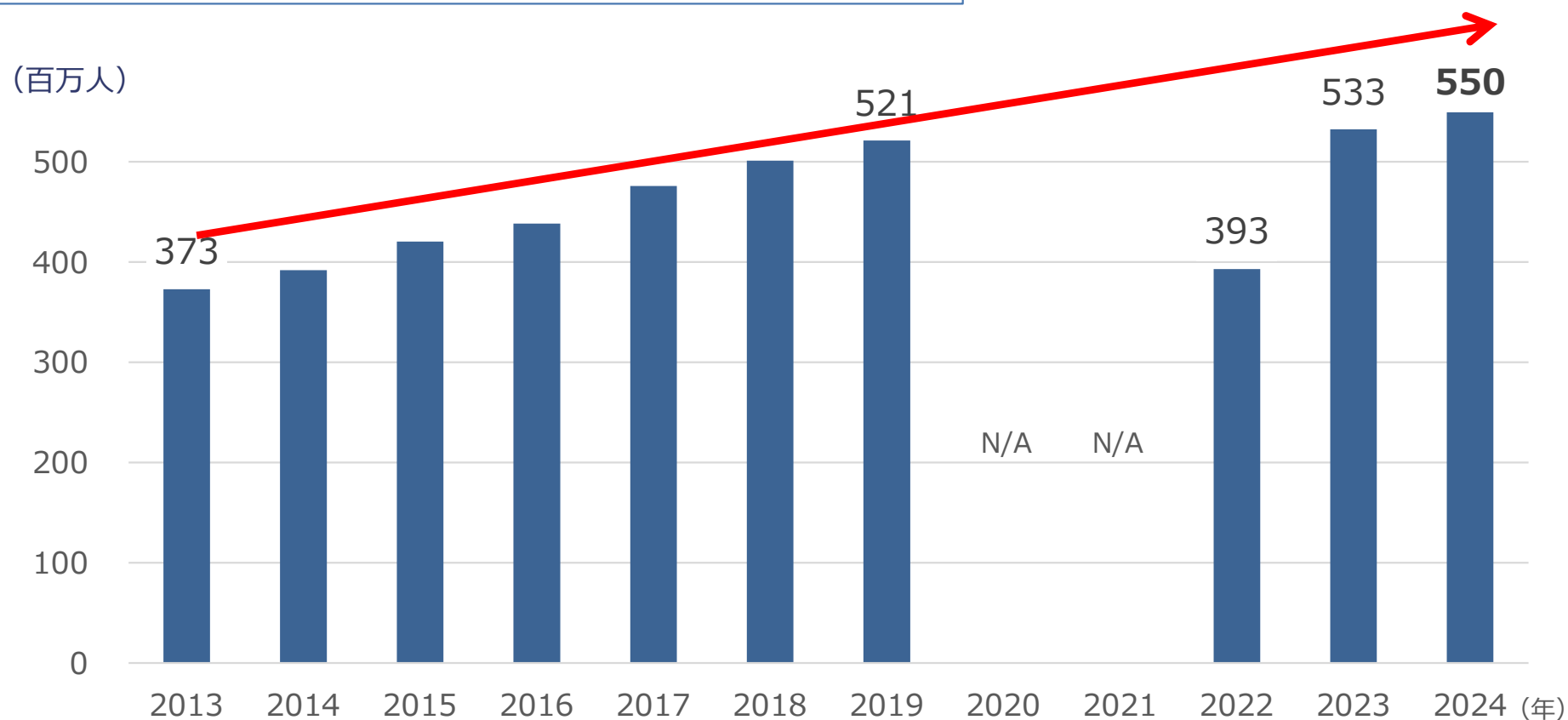




市場環境：遊戯機械事業

- 世界のテーマパークの入場者数は、2023年にはコロナ禍前の水準を回復
- 米国とアジアは新規開業と再投資が活発。中東・中南米など新興市場での展開も注目され、今後も成長期待が高い

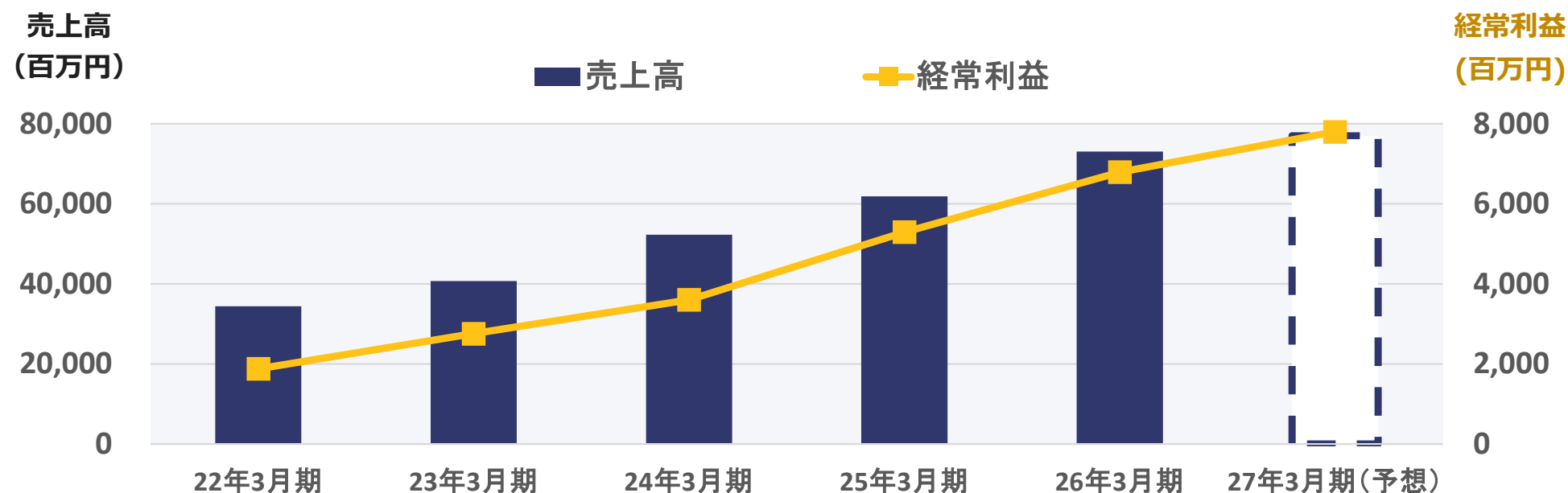
世界トップ10 テーマパーク事業者の年間総入場者数の推移



出典：Themed Entertainment Association 「Global Experience Index 2013 ～ 2024」

2027年3月期 連結業績予想

(単位:百万円)	2026年3月期	2027年3月期	前期比
売上高	73,070	77,000	+ 3,929 (+5.4%)
営業利益	6,570	7,700	+1,129 (+17.2%)
経常利益	6,792	7,800	+1,007 (+14.8%)
親会社株主に帰属する当期純利益	5,102	5,300	+ 197 (+3.9%)



配当実績と予想

配当政策

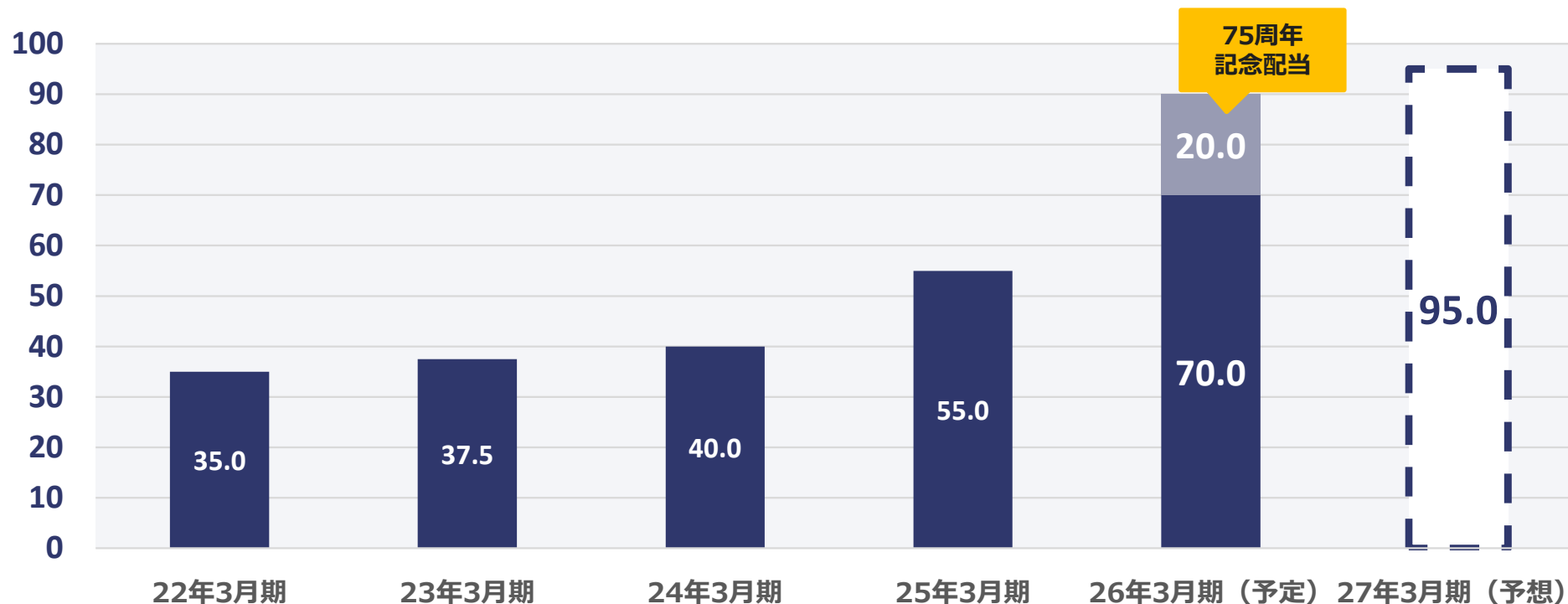
株主への利益還元を重要な経営課題の一つと考え、以下の点を総合的に勘案し配当金を決定しており、2026年3月期の年間配当は90円を予定。2027年3月期の年間配当は95円への増配を予想。

1 長期かつ安定的な利益還元

2 当期利益の水準

3 手持受注工事の期末残高

年間配当 / 一株 (円)



さらに、2026年3月期は約8億円の自己株式を取得（総還元性向は47.7%）
2027年3月期は約10億円の自己株式を取得（総還元性向は50.6%を予想）

5

成長戦略

<中期経営計画 2026/3期～2028/3期>

中期経営計画の基本方針

計画名称 / 期間	新中期経営計画 2026/3期 ~ 2028/3期(3年間)				
テーマ	動かす技術で社会に笑顔を“ TEAM Sansei ”の深化と進化! *TEAM=Theater（舞台）、Elevator（昇降機）、Amusement（遊戯）、Maintenance（保守・改修）				
基本方針	▶ 既存 3 事業の事業拡大と採算性向上				
					
	遊戯機械事業	舞台設備事業	昇降機事業		
	国内外で一段のグループ連携により販売力、製品競争力を高める。	新設、改修、仮設の大口案件に着実に対応、アリーナや新分野への取組みにより受注、売上の成長を図る。	安定収益事業として、保守改修と合わせて、収益力の向上を目指す。		
	▶ 既存3事業の事業拡大と採算性向上 ▶ 新たな柱となる事業分野への参入(M&A含む) ▶ 資本効率性を一段と意識した経営 ▶ 目標:ROE10%、PBR 1 倍以上				
	売上高	経常利益	経常利益率	当期純利益	ROE
中計目標 (2028/ 3 期)	750億円	71 億円	9.5%	50 億円	10%

資本コストや株価を意識した経営の実現について

課題

- 海外子会社のれん償却負担（円安により増大）を上回る収益力の向上
- 原材料費及び人件費の高騰に対応する付加価値の向上
- 金利上昇、株価変動に伴う資本コストの上昇傾向

資本収益性を意識した事業戦略実行（中期経営計画）

収益性の向上

株主還元の拡充

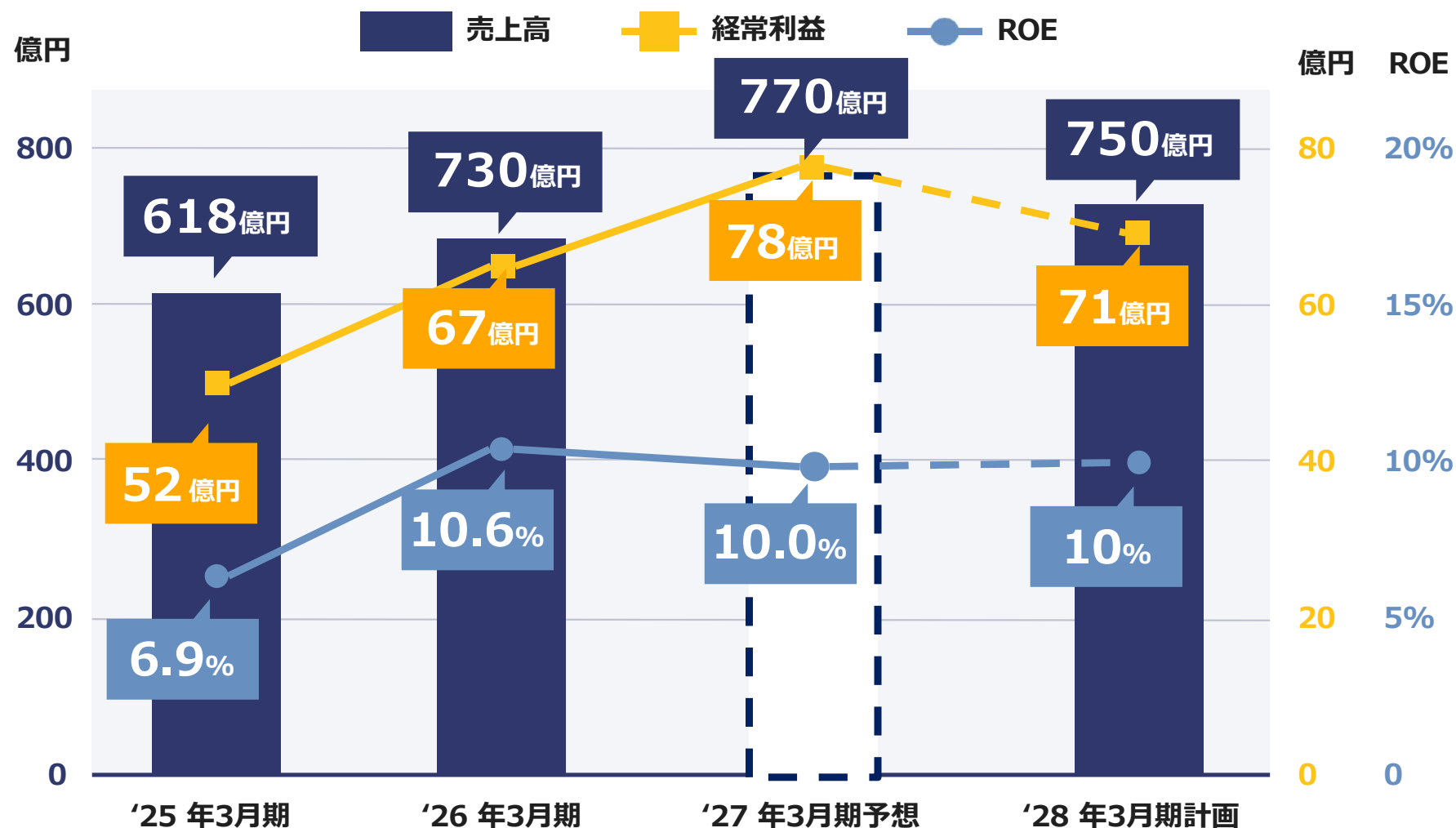
IR活動の強化

資本コストを上回る資本収益性の達成

持続的な成長と中長期的な企業価値向上

目標：ROE10%、PBR 1倍以上

業績計画の総括



2026年3月期のROEは株式売却益等の計上により10%台
2027年3月期業績予想には中東における売上を約40億円見込む
中東情勢等不確定要素があり、中計最終年度の目標値は据え置いている

お問い合わせ先

三精テクノロジーズ株式会社

<https://www.sansei-technologies.com/contact/>

